

殺しのリハーサル (1982)

REHEARSAL FOR MURDER

メディア TVM

ジャンル サスペンス

製作国 アメリカ

時間 100分

公開情報 劇場未公開・TV放映

【解説】

劇作家のアレックスは一年間の沈黙を破り、新作舞台の脚本の読み合わせをするために友人である役者やプロデューサーをとある劇場に招いた。久し振りの再会に喜ぶ6人だったが、いざ本読みを始めて見るとその内容はちょうど一年前に起きた事件を蒸し返すような物だった。その事件とは舞台の初日の晩、主演のモニカが自宅の二階から飛び降り自殺をしてしまい公演が中止になったという悲惨な事件で、6人共その公演に参加していたのだった。モニカと結婚間近だったアレックスは、その晩のモニカの行動に不審を抱き、自殺ではなく他殺であると確信してさまざまな動機が考えられる共演者たちを犯人探しのために書いた台本で洗い出そうとしていたのだった。しかしそれに怒った役者のひとりがアレックスの静止を振り切り、劇場を出ようとするが……。『刑事コロンボ』の生みの親であるレヴィンソン&リンク・コンビによる“芝居”を巧みに使ったミステリーの秀作。細かい所まで練られたシナリオが見る者を“もうひとりの関係者”にして、アレックスが導くリハーサルにどっぷりと漬けてくれる。どんでん返しの結末はまさに圧巻！

【クレジット】

監督	デヴィッド・グリーン	David Greene
製作総指揮	ウィリアム・リンク	William Link
	リチャード・レヴィンソン	Richard Levinson
脚本	ウィリアム・リンク	William Link
	リチャード・レヴィンソン	Richard Levinson
撮影	ステヴァン・ラーナー	Stevan Lerner
音楽	ビリー・ゴールドンバーグ	Billy Goldenberg
出演	ロバート・プレストン	Robert Preston
	リン・レッドグレーヴ	Lynn Redgrave
	パトリック・マクニー	Patrick Macnee
	ローレンス・プレスマン	Lawrence Pressman
	マドリン・スミス＝オズボーン	Madolyn Smith-Osborne
	ウィリアム・ラス	William Russ
	ジェフ・ゴールドブラム	Jeff Goldblum
	ウィリアム・ダニエルズ	William Daniels